

「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、経営資源の成長分野への重点的な投入、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。その上で、生み出した収益・成果に基づいて、社内外の様々な考慮要素を総合的に勘案し、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、教育訓練等を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

(個別項目)

具体的には、賃金の引き上げについて、若手から高年齢者まで幅広い人材の確保・定着を強く意識し、労使間の真摯な議論を基に賞与を含めた年収の改善に取り組んでまいります。また、教育訓練等について、キャリアに応じたスキル習得のために階層別研修を設けるとともに、ファイナンシャルプランナーや証券アナリストなど各種資格の取得を奨励・支援し、これら施策の効果をエンゲージメントサーベイで定期観測することにより、ウェルビーイングな組織の実現に取り組んでまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

なお、パートナーシップ構築宣言の掲載が取りやめとなった場合、マルチステークホルダー方針の公表を自主的に取り下げます。

- ・ パートナーシップ構築宣言のURL

[【https://www.biz-partnership.jp/declaration/59357-11-00-tokyo.pdf】](https://www.biz-partnership.jp/declaration/59357-11-00-tokyo.pdf)

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

2024年4月24日

丸三証券株式会社

法人名

代表取締役社長 菊地 稔

役職・氏名（代表権を有する者）